

国分寺駅北口地区再開発事業の 計画変更案に様々な指摘

第2回定例会を5月20日から6月24日までの36日間の会期で開催しました。一般質問は4日間にわたり21名の議員が、様々な視点から市政の現状について質問を行いました。今定例会では、意見書1件、市長提出議案19件、陳情3件について議決しました。

なお、平成22年度当初予算は、再度、予算特別委員会を開催して審査を行いました。継続とし、9月までの暫定予算を可決しました。

また、4月26日には第1回臨時会を開催し、意見書1件、市長提出議案6件、陳情1件について議決しました。

暫定予算の4カ月延長を可決 —第2回定例会—

市の平成22年度予算は、一般会計と7つの特別会計が、5月まで2カ月間の暫定予算となっていました。

5月20日に開催した本会議において、3月に提案された議案第56号（平成22年度国分寺市一般会計予算）及び議案第57号（平成22年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算）の両予算議案が撤回され、それぞれ議案第74号及び75号という新たな議案として再提案が行われました。

この議案の再提案にあたり市長からは、国分寺駅北口地区再開発事業に関する施政方針の変更も表明されました。その内容は、現計画案では西街区の保留床処分の見通しが困難であることから、住宅を導入した施設建築物案に変更し、そのことに関連する容積や高さ等、最低限の都市計画変更を行うこととしたいというものです。

議案第74号の平成22年度一般会計予算は、この計画変更に伴う関連予算を大幅に減額したもので、総額を384億5,590万5千円とするものです。この計画変更は、今後の市の財政見通しや運営にも大きな変更が生じることから、財政フレームなどの長期的な財政関連資料も改めて提

本文中の用語解説

注1: 8つの特別会計のうち「地域バス運行事業特別会計」の暫定予算は、4月～5月の歳出が見込まれないという理由により提案されていなかった。
注2: 市の基本構想や長期計画に基づき、平成22年度～27年度までの6年間の歳入と歳出を推計したものの。
注3: 当該年度の歳出は当該年度の歳入をもって賄うこと。財政調整基金などの取り崩しを極力抑えることを意味する。
注4: 市の財政構造の弾力性を測定する比率として使われるもので、人件費・扶助費・公債費等の経常的経費（義務的経費）が地方税・地方交付税・地方譲与税を中心とする経常的な収入である一般財源に占める割合。経常的経費に充当した一般財源の残りが大きいほど臨時の財政需要に対応でき財政構造に弾力性があることになる。

出されました。

議会では、同日から、議長を除く23名の議員による予算特別委員会（新海栄一委員長）において審査を行いました。

これまで市では、平成23年度までに収支均衡型の財政体質の確立と経常収支比率を80%台とすることを表明してきました。

しかし今回の委員会において、平成23年度までに20億円の財源不足が見込まれることから達成が困難となったため、26年度までの目標に変更するとの説明がありました。そして、その目標を達成するため23年度には8億円、24年度から26年度までは各年度4億円ずつ歳出を削減していくとの考えが示されました。

これに対し委員からは、「具体的な取り組みの方策が不明確であり見通しが甘い」「3月に表明した施政方針では23年度までの達成が表明されており整合性がとれていない」などの指摘がありました。市長からは、「内部管理経費の精査やアウトソーシングの取り組み、人事給与制度の見直し等により削減目標額を達成していきたい」「行政改革が状況の変化等に対応仕切れていなかった」などの答弁がありました。なお、この質疑に関する施政方針の変更が翌日の本会議において表明されました。

また、国分寺駅北口地区再開発事業の計画変更に関しては、「住宅棟を導入する計画案を選択した理由や事業成立の裏づけ」「まちづくり構想との整合性や商業振興に対する考え方」「事業費増大と議会の附帯決議に対する認識」「市民への情報提供や意見反映のあり方」など様々な視点からの質疑が行われました。市長からは「財政負担や事業スケジュール、まちづくりの整合性の視点から検討し、現状を踏まえた結果の変更案である」「この再開発事業を起爆剤として商業振興を図っていく」などの答弁がありました。

そして5月25日の委員会において、市長から

「今後の審議日程を踏まえ暫定予算期間をさらに4カ月延長する判断をした」との発言があり、27日に開催した本会議において、一般会計と全特別会計の暫定予算議案が、議案第86号から議案第94号として提案されました。

この提案に際し市長からは、「国分寺駅北口地区再開発事業に関して、住宅を導入した施設建築物への都市計画変更を行うが、商業振興、まちづくりの理念及び財政負担に十分な配慮を行い、施設計画案を7月中旬までに固めていきたい」との考え方が示されました。

議会では、5月27日から31日まで委員会審査を行った後、5月31日の本会議において、議案第86号から議案第94号の暫定予算議案を可決しました。一般会計暫定補正予算の表決の際に行われた各会派の討論は2～3ページを、賛否の分かれた議案に対する各議員の表決結果は8ページをご覧ください。

なお、議案第74号等9件の当初予算議案は、継続審査扱いとしました。

4月26日、第1回臨時会を開催

平成22年第1回臨時会を4月26日に開催しました。議題は、議案第73号「平成22年度国分寺市一般会計暫定補正予算第1号」等の8件であり、審議の概要は、以下のとおりです。

まず、議案第73号の主な内容は、国分寺駅北口自転車駐車場等の目的外使用に関連して、国庫等に支払うための納付金と定額給付金の精算に伴う返還金です。本案は、補正予算審査特別委員会にて審査を行い、各委員から、「関係法律による手続きを失念していたことは、問題である。また、加算金を支払うことに至った点も誠に遺憾である。市長には猛省と、その責任を明らかにすることを求めたい」などの見解が示されました。本案については、委員会・本会議と

次ページにつづく